

令和 5 年度資金不足比率について

資金不足比率	-
--------	---

(資金不足が生じていないため、「-」を記載)

1 算定の基礎

(単位：円)

資金の不足額	流動負債	2,215,222,216	(A)
	控除(流動負債のうち企業債・ダム割賦未払金)	2,016,323,072	(B)
	建設改良以外財源充当地方債	0	(C)
	流動資産	2,300,466,954	(D)
	解消可能資金不足額	0	(E)
	計	-	(F) (A)-(B)+(C)-(D)-(E) マイナスの場合は「-」
事業の規模	営業収益	3,799,557,232	(G)
	受託工事収益	0	(H)
	計	3,799,557,232	(I) ((G)-(H))

2 計算式

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 (F)}}{\text{事業の規模 (I)}}$$

(参考)

経営健全化基準値 資金不足比率 20%